

FURIOUS MAN 取扱説明書

怒漢

この度はKATANASOUND製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しい取扱い方法をご理解いただいたうえで充分機能を発揮させ、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

●各部の名称とはたらき

【INPUT】

入力ジャックです。エレクトリック・ギター、その他の楽器やエフェクターの出力を接続します。また、入力ジャックは電源スイッチも兼ねており、接続プラグを差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。電池の消耗を防ぐためにもご使用されない場合は入力ジャックからプラグを抜いてください。

*プラグの出力からの接続はおやめください。故障、火災の危険性があります。

【OUTPUT】

出力ジャックです。アンプや他のエフェクターへ接続します。エフェクターをバイパスした状態ではトウル・ハイパス回路により入力信号がダイレクトに出力されます。

【DC.】

ACアダプター（別売）を接続するジャックです。コンパクト・エフェクター用9V/100mA以上のもので、プラグの外側に±極性のもをご使用下さい。

（BOSS PSA-100S推奨）

ACアダプターを使用することで電池交換なしに長時間の演奏ができます。

【FUZZ】

歪みの深さを調整します。0から中央あたりまではクランチ～太めのアンプトライバー、さらに右（10）に回すと歪みが増え図太いファズ・サウンドになります。

【BIAS】

アンプト・レベルと低音域の音質を調整します。右に回しきった状態（0）が基本の位置です。左（-10）に回すと入力信号が減少し歪みが少なく低音域が減少したシャープなサウンドになります。ギターのボリュームを若干絞って得られる、高音域を際立たせた“ペルトーン”と同じような効果を作り出せます。

【DUTY】

エフェクト時の音の密度を調整します。

右に回しきった状態（1/2）が基本の位置です。左に回していくに従って音の密度がかなりの電池が切れる寸前のようなサウンドになっていきます。

左（1/∞）に回していくに従って徐々に音が出なくなります。

【FUZZ】や【BIAS】とのセッティング次第で発振やノイズを伴うクレージー・

ファズ、ゲートの切れたシンセペーヌ風サウンドやスモールスピーカーのチューンアップをドライブしたようなクランチ・サウンドなど多彩な歪みを演出できます。

【VOLUME】

エフェクト時のアウトプットレベルを調整します。他のコントロールの設定によってもアウトプットレベルが変化しますので最初は控えめな設定から調節してください。

*過度な設定はアンプ側の負担となりアンプの故障原因となりますのでおやめください。

【BUFF KILL】

BUFF KILL ON/OFFスイッチです。

BUFF KILL機能は従来ハイインピーダンス出力の楽器をローインピーダンスで受ける“ミスマッチング”によって得られるファズ特有の効果を、バッファークレープサーキット等のローインピーダンス出力機器の接続でも再現できる画期的な回路です。

一般的なバッファのギター/ベースを接続する際はBUFF KILLスイッチを【0】側に倒した状態で使用します。この状態ではBUFF KILL回路はバイパスされワイドレンジでレスポンスのよいサウンドが得られます。また、高音域が耳障りに感じられる場合は【1】側に倒しBUFF KILLをONにすることで、高音域がスマイルされたマイルドなサウンドにすることもできます。

バッファークレープ出力のエフェクターやアクティブサーキットのギター/ベースを接続する際はBUFF KILLスイッチを【1】側に倒した状態で使用します。この状態ではBUFF KILL回路がアクティブとなり、ミスマッチング状態に近いファズサウンドになります。これによりファズの前にエフェクターを接続した際に低音域のないギラギラとしたサウンドになってしまうのを回避でき、今までにない柔軟なエフェクトシステムを構築できます。

●電池の交換

本体裏フタの4本のピスを外し交換してください。電池は9V/006Pを使用します。

*長期間ご使用にならない場合は乾電池の液もれを防ぐためにも本機より乾電池を取り外しての保管をお願いします。

*電池交換の際、内部の回路に触れたり、配線に無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

上記の使用法、別紙注意書を無視して使用された場合の保証、責任は一切負いかねますのでご了承ください。

KATANASOUND